

令和4年度 決算報告

令和4年度の決算が町議会9月定例会議で認定されました。決算の概要から見た町の財政状況についてお知らせします。



令和4年11月に開庁した複合庁舎くずま〜

特別会計の決算の状況

区分	歳入	歳出	差引	
国民健康保険	8億4,804万円	8億3,707万円	1,097万円	
農業集落排水	2億1,568万円	2億1,129万円	439万円	
後期高齢者医療	8,754万円	8,335万円	419万円	
国保葛巻病院	収益的	10億9,919万円	10億8,360万円	1,559万円
	資本的	1億1,974万円	1億9,050万円	△7,076万円
水道	収益的	1億6,539万円	1億8,790万円	△2,251万円
	資本的	7,503万円	1億4,104万円	△6,601万円

基金および地方債現在高の状況

▶基金年度末現在高（積立金）

基金区分	年度末現在高	年度中増減
財政調整	7億8,859万円	△3,069万円
町債減債	9億1,215万円	240万円
地域づくり振興	9億 658万円	△6,538万円
公共施設等整備	27億 35万円	△6億7,553万円
その他	3億5,452万円	3,531万円
全基金合計	56億6,219万円	△7億3,389万円

▶地方債年度末現在高（借入金）

会計区分	年度末現在高	年度中増減
一般	110億2,465万円	15億6,583万円
農業集落排水	10億4,865万円	△6,305万円
国保葛巻病院	24億5,749万円	△9,824万円
水道	13億9,357万円	△9,783万円
全会計合計	159億2,436万円	13億 671万円

財政健全化法に基づく指標の公表

令和4年度決算における財政健全化法に基づく各指標は、いずれも法に定められている基準を下回りました。

▶健全化判断比率

各指標(早期健全化基準)	R 4	R 3	比較
実質赤字比率 (15%)	赤字なし	赤字なし	—
連結実質赤字比率 (20%)	赤字なし	赤字なし	—
実質公債費比率 (25%)	7.9%	8.3%	0.4%削減
将来負担比率 (350%)	12.8%	比率なし	皆増

一般会計の主な使いみち

◆総務費

- 庁舎等建設事業……………19億5,879万円
- 江刈馬淵自治会館整備事業……………3,725万円
- 自治会活動交付金……………1,885万円

◆民生費

- 高齢者福祉センター整備事業……………4億8,763万円
- 高砂荘浴室等整備事業……………1億6,932万円
- 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金……………4,905万円
- いわて子育て世帯臨時特別支援金……………1,728万円

◆衛生費

- 新型コロナウイルス感染症予防事業……………5,697万円
- 最終処分場長寿命化修繕工事……………1,634万円
- 清掃センター長寿命化修繕工事……………1,353万円

◆労働費

- 雇用促進事業……………1,808万円

◆農林水産業費

- 草地畜産基盤整備事業……………1億5,408万円
- 畜産生産資材価格等高騰対策事業……………7,441万円
- 発酵乳製造設備等整備事業……………3,000万円
- いわて地域農業マスタープラン実践支援事業……………1,977万円
- 育成牛預託助成事業……………1,850万円
- 森林保全特別対策事業……………1,762万円

◆商工費

- 経済活性化事業……………7,960万円
- くずまきDMO事業……………1,219万円

◆土木費

- 町道茶屋場田子線道路改良工事……………7,275万円
- 町道葛巻浦子内線道路改良工事……………6,881万円
- 町道小屋瀬塚森線ほか道路長寿命化修繕工事……………2,645万円
- 上外川トンネル長寿命化修繕工事……………2,405万円
- 町道追鍋線道路改良工事……………2,008万円
- 町宮田の沢住宅長寿命化修繕工事……………1,430万円

◆教育費

- 体育施設等改修工事……………4,347万円
- くずまき山村留学生寄宿舎管理・調理業務……………3,424万円
- 公営学習塾管理運営事業……………2,536万円
- 学び輝く“ひと”づくり支援事業……………1,725万円

◆災害復旧費

- 公共土木施設災害復旧事業……………2,405万円
- 農業用施設災害復旧工事……………1,321万円

特別会計の主な使いみち

◀農業集落排水事業▶

- 町整備型浄化槽整備工事……………3,074万円

一般会計の歳入総額は103億3,381万円で、前年度比10億8,378万円（11.7%）の増となりました。対して、歳出総額は94億970万円で、前年度比5億359万円（5.7%）の増となる決算となりました。歳出を目的別に見ると、最も増加したのは民生費で、前年度比5億1,843万円（37.1%）の増となり、主な要因は、高齢者福祉センター整備事業や高砂荘浴室等整備事業などによるものです。次に増加額が大きいのは総務費で、前年度比4億

2,224万円（14.8%）の増となり、主な要因は、庁舎等建設事業や江刈馬淵自治会館整備事業などによるものです。5つの特別会計の歳出決算総額は、27億3,475万円で、前年度比3,966万円（1.5%）の増となりました。一般会計と特別会計を合わせた歳出決算総額は121億4,445万円となり、前年度比5億4,325万円（4.7%）の増となりました。

一般会計の決算の状況

歳入総額 103億3,381万円
前年度比 10億8,378万円（11.7%）増

歳出総額 94億970万円
前年度比 5億359万円（5.7%）増

差し引き 9億2,411万円の黒字

